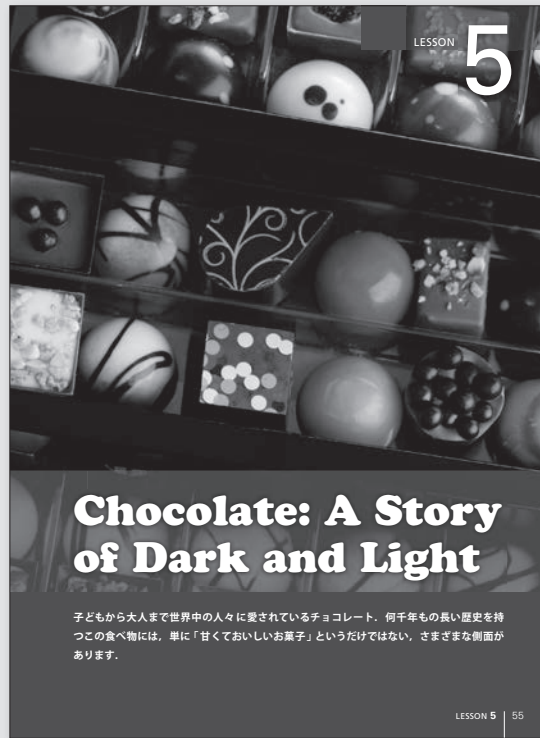


Chocolate: A Story of Dark and Light



【出典】

本課の英文は、Mort Rosenblum, *CHOCOLATE: A Bittersweet Saga of Dark and Light* (North Point Press, 2004) / Carol Off, *Bitter Chocolate: The Dark Side of the World's Most Seductive Sweet* (New Press, 2008) を参考にして、本教科書の編集委員会が書き下ろしたものである。

【本課の題材のねらい】

チョコレートは美味しいだけでなく、主原料のカカ

オは日用品の中で使われ、私たちの生活に大きく寄与している。一方、歴史的な汚点も明らかになっている。爆発的に人気の出たチョコレートの原料生産を確保するために、中南米やアフリカのプランテーションで、黒人の奴隷や現地の人びとが過酷な労働を強いられたのである。現在でも、子どもたちの不法労働は解決されていない。チョコレートの現在まで続く変遷の歴史の「光と影」について考えたい。

【本課の概要】

多くの人々がチョコレートを愛してやまない。主原料のカカオは、西アフリカや中南米諸国のような蒸し暑い地域で生産される。

その歴史は、古代中央アメリカにさかのぼる。当時のチョコレートは苦い飲み物だったが、16世紀にこの地に来てきたスペイン人は、これに砂糖を加えて甘い飲み物にした。それがヨーロッパに紹介され、富裕層に人気を博す。19世紀には固形の食べるチョコレートが誕生し、大量生産されるようになった。

チョコレートには「影」の側面がある。16世紀以降、

ヨーロッパでの需要が増え、多くのカカオ生産が必要になると、ヨーロッパ諸国は中南米にプランテーションを作り、地元の人びとを酷使し、多数の労働者をアフリカから奴隷として連れてきた。その後、アフリカにもプランテーションが作られた。今日でも、労働のため学校に行けない子どもたちの問題は深刻である。

チョコレートの歴史は今日もまだ続いている。現在、カカオの成分が基礎化粧品や歯磨剤に使われている。こうした研究が将来さらに多くの可能性をもたらすことが期待される。

【本課の学習内容・配当時間】

時間	頁	学習内容	
1	56-57	本文 Part 1	チョコレートが世界の人びとに愛されるようすと、原料のカカオの産地について読み取る。
2	58-59	本文 Part 2	中央アメリカに発するチョコレートの3000年にわたる変遷を読み取る。
3	60-61	本文 Part 3	チョコレートの歴史の影の部分である、奴隷や子どもたちのプランテーションにおける過酷な労働のようすを読み取る。
4	62-63	本文 Part 4	カカオが私たちの健康に与える恩恵と、今後に期待される可能性について読み取る。
5	64	Summarizing	本文英文の内容を確認し、メモをもとにして要約文 (Summary) を書く。
6	65	Listen & React	世界におけるチョコレートの年間消費量とカカオ豆の年間生産量についてのプレゼンテーションを聞いた後、グラフから読み取った情報を発表する。
7	66-67	Grammar for Communication	不定詞 (to do) 形式目的語 it 動詞+A+to do
8	68	Language Resources	“Taste” に関する語彙を体系的に学習する。

【本課の言語活動】

Reading	Listening	Writing / Speaking
題材: 「食文化」について読む。 形式: 説明文 語数: 670	Presentation チョコレートの年間消費量とカカオ豆の年間生産量についてのプレゼンテーションを聞く。	Presentation グラフから読み取った情報を説明する。

Lesson 5 Part 1

LESSON 5 Chocolate: A Story of Dark and Light

1 “Nine of every ten people say they love chocolate. The tenth lies,” amusingly says a famous French gourmet. Many people agree that chocolate is the king of all sweets. When you are tired, or when you need a break, what you want is, yes, chocolate! The rich flavor, fine texture, and sweet smell ... all these make a perfect harmony to help you relax.

The main ingredient in chocolate is cacao beans. These are mainly produced in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. Cacao gives chocolate its wonderful and unique taste.

Chocolate comes in various forms such as bonbons, chocolate bars, or cookies. Chocolate fondue is a Swiss-style dessert. You dip various items such as pieces of fruit and marshmallows into melted chocolate. You may find it hard to believe, but chocolate isn't just a sweet. Mole Poblano, a Mexican sauce for chicken, is made with chocolate, chili peppers, tomatoes, and other ingredients.

New Words

amusingly [ə'mju:zɪŋli]
 texture [ˈtɛkʃə(r)]
 harmony [hɑ:ˈmɒni]
 cacao [kə'kɑ:u]
 humid [hjuːˈmɪd]
 Africa [əˈfrɪkə]
 Latin [læˈtɪn]
 bonbon [bɒnbɒn]
 fondue [fʌndju:]
 Swiss [swɪs]
 dessert [dɪzə:rt]
 dip [dɪp]
 marshmallow [ˈmɑ:ʃmæləʊ]
 melt [mɛlt]
 Mole Poblano [ˈmoʊlə pɒbləˈnoʊ]
 Mexican [mɛksɪkən]
 chili [ˈtʃɪli]

Get the Picture

1. What do many people agree about chocolate?
 2. Where are cacao beans mainly produced?
 3. What is Mole Poblano?

come in ~ ex. This T-shirt comes in three different colors.

56 LESSON 5



【訳例】

「10人のうち9人はチョコレートが大好きだと言う。10人目の人は嘘をついている」ある有名なフランス人の食通は、こんな冗談を言っています。多くの人はチョコレートがお菓子の王様であることに同意しています。疲れているとき、休憩したいとき、あなたが欲しくなるものは、そうです、チョコレートですね！あの豊かな味わい、繊細な食感、甘い香り……これらのすべてが、あなたがリラックスするのを助ける絶妙のハーモニーを奏でます。

チョコレートの主な原料はカカオ豆で、主に西アフリカやラテンアメリカ（中南米諸国）の暑くて湿気が多い地域で生産されます。カカオがチョコレートに、あのすばらしい独特な味わいをもたらすのです。

チョコレートには、ボンボン（ジャムなどをチョコレートでくるんだお菓子）、板チョコ、クッキーのようにさまざまな形があります。チョコレート・フォンデュ

はスイス式デザートです。フルーツやマシュマロのようないろいろな種類のを溶けたチョコレートに浸けていただきます。信じがたいかもしれませんが、チョコレートはお菓子だけではなく、モーレ・ポブラーノというチキンに使うメキシコのソースは、チョコレート、チリ・ペッパー（中南米産唐辛子）、トマト、その他の材料でできています。

【図版解説】

カカオの木と実。カカオの木は、高温多湿の熱帯でしか生息しない。高さは栽培種で4～8メートル。木の幹に直接花が咲き、そのまま実がなる珍しい植物。カカオの実（カカオポッド）は、長さ15～25センチメートル、重さ250グラム～1キログラム。一つの実の中に白い果肉に包まれた種、つまりカカオ豆が20～40粒入っている。（p.57）

Summary

Many people say that chocolate is the king of sweets. When you need a break, chocolate helps you to relax. The main ingredient in chocolate is cacao beans. They are produced mainly in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. Believe it or not, chocolate isn't just a sweet. Mole Poblano is a spicy Mexican sauce made with chocolate, tomatoes and other ingredients.

多くの人がチョコレートがお菓子の王様であると言っています。休憩が必要なとき、チョコレートはリラックスするのを手助けしてくれます。チョコレートの主原料はカカオ豆です。カカオ豆は、主に西アフリカやラテンアメリカの暑くて湿気が多い地域で生産されています。信じがたいかもしれませんが、チョコレートはお菓子だけではなく、モーレ・ポブラーノは、チョコレート、トマト、その他の材料でできた香辛料のきいたメキシコのソースです。

英文解説

L.1 “Nine of every ten people say they love chocolate. The tenth lies,” amusingly says a famous French gourmet. 「10人のうち9人はチョコレートが大好きだと言う。10人目の人は嘘をついている」ある有名なフランス人の食通は、こんな冗談を言っています」

■ **Nine of every ten people** 〈A (out) of every B〉は「B分のAの割合 [比率] (で)」という意味。Bの部分には複数形の名詞が入る。outがない場合もある。

■ **chocolate** 不可算名詞であるが、数える場合は *a box of chocolate*（1箱のチョコレート）や *a bar of chocolate*（1枚の板チョコ）（= *a chocolate bar*）などのような形を用いる。

■ **The tenth lies** The tenth の後ろには本来 person が続くが、自明のため省略されている。lie は自動詞で「嘘をつく」という意味。動詞の活用は規則変化だが、ing 形は lying である。ex. She lies about her age. — *OALD*（彼女は年齢を偽っている）「(人・動物が)横たわる、横になる」という意味の lie の活用は、lie-lay-lain である。ing 形は lying になる。

■ **gourmet** 「食通、美食家」(= a person who knows a lot about good food and wines and who enjoys choosing, eating and drinking them — *OALD*) この a famous French gourmet とは、政治家・法律家でもあった Jean Anthelme Brillat-Savarin（ジャン・アンテルム・ブリア＝サヴァラン）(1755-1826) のこと。『美味礼賛』の著者として知られる。

L.3 Many people agree that chocolate is the king of all sweets. 「多くの人はチョコレートがお菓子の王様であることに同意しています」

■ **the king of all sweets** この sweet は可算名詞扱いで、「甘い菓子」(= a small piece of sweet food made of sugar or chocolate) という意味を表す。

L.4 When you are tired, or when you need a break, what you want is, yes, chocolate! 「疲れているとき、休憩したいとき、あなたが欲しくなるものは、そうです、チョコレートですね！」

■ **what you want** 〈what〉は先行詞を含む関係代名詞。what 節全体で1つの名詞としての機能を果たす。そのため、主語、目的語、be 動詞の補語になる。ここでは主語の役割をしている。

L.5 The rich flavor, fine texture, and sweet smell ... all these make a perfect harmony to

help you relax. 「あの豊かな味わい、繊細な食感、甘い香り……これらのすべてが、あなたがリラックスするのを助ける絶妙のハーモニーを奏でます」

- **flavor** 「(独特の) 味, 風味」 (=the particular taste of a food or drink — *LDOCE*) 一般的に「味」というときは taste を使う。
- **texture** 「(食べ物)の食感, (食べ物)の舌触り」 (=the way that a particular type of food feels in your mouth — *LDOCE*)
- **help you relax** 〈**help A (to) do**〉は「A が～するのに役立つ」という意味。アメリカ英語では、しばしば to が省略されるが、イギリス英語でも省略されることがある。to help you relax は、直前の a perfect harmony を修飾する不定詞の形容詞的用法。 → **Focus** : 不定詞

L.8 The main ingredient in chocolate is cacao beans. 「チョコレートの主な原料はカカオ豆です」

- **ingredient** 可算名詞で、「(食品・料理)の原料, 材料」 (=one of the foods that you use to make a particular food or dish — *LDOCE*)

L.9 These are mainly produced in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. 「これらは、主に西アフリカやラテンアメリカ (中南米諸国) の暑くて湿気の多い地域で生産されます」

- **mainly** 「主に, 主として」 類義語に、chiefly や primarily がある。

カカオの生産地

西アフリカのカカオの主な生産国は、Cote d'Ivoire, Ghana, Nigeria, Cameroon など。ラテンアメリカはメキシコおよび中南米地域を指し (カリブ海諸国を含めることもある)、この地域のカカオの主な生産国は、Brazil, Ecuador, Columbia, Mexico など。カカオの生産地は、赤道をはさんで北緯20度から南緯20度の範囲の熱帯の低地に限られる。西アフリカや中南米のほかに東南アジアでも生産されている。

L.10 Cacao gives chocolate its wonderful and unique taste. 「カカオがチョコレートに、あのすばらしい独特な味わいをもたらすのです」

- **gives chocolate its wonderful and unique taste** 通例移動が不可能なものが目的語の場合、〈give A to B〉の構文を用いることはできない。× Cacao gives its wonderful and unique taste to chocolate.
- **unique** 「独特な, ユニークな, 並外れた」 (=very special or unusual — *OALD*) ex. a unique talent — *OALD* (たぐいまれな才能)

L.12 Chocolate comes in various forms such as bonbons, chocolate bars, or cookies. 「チョコレートには、ボンボンや板チョコ、クッキーのようにさまざまな形があります」

- **comes in various forms** 〈**come in ~**〉は「～ (な形 [色・大きさ]) で現れる, 売りに出される」という意味。
脚注 This T-shirt comes in three different colors. (このTシャツは3色で売りに出されている)
- **such as bonbons, chocolate bars, or cookies** 〈**such as ~**〉は「例えば～のような」という意味。ex. Cartoon characters such as Mickey Mouse and Snoopy are still popular. — *LDOCE* (ミッキーマウスやスヌーピーのようなアニメキャラクターは、今でも人気がある) **bonbon** 「ボンボン」はジャムなどをチョコレートでくるんだ一口サイズのお菓子を指す。

L.13 Chocolate fondue is a Swiss-style dessert. 「チョコレート・フォンデュはスイス式デザートです」

- **Chocolate fondue** チョコレートを加熱して溶かしたものに温かい牛乳や生クリームを加え、パンや果物などをからめて食べるデザート。語源はフランス語の「溶ける・溶かす」を表す fondre 及びその過去分詞形 fondu である。

- **a Swiss-style dessert** 〈**-style**〉は「～式 [風] の [で]」という意味。ex. Japanese-style room (和室), British-style garden (英国式庭園)

L.14 You dip various items such as pieces of fruit and marshmallows into melted chocolate.

「フルーツやマシュマロのようないろいろな種類のものを溶けたチョコレートに浸けていただきます」

- **dip various items ... into melted chocolate** 〈**dip A in/into B**〉は「A を B (液体) にちょっと浸す」 (=to put something into a liquid for a short time — *CALD*) という意味。ex. She dipped her toe into the pool to see how cold it was. — *CALD* (彼女は水がどのくらい冷たいのかを確かめるため、つま先をプールに浸してみた)
- **pieces of fruit** 〈**fruit**〉は総称的に用いられると、集合的に不可算であるが、数えるときは、a piece of ~ (1つ), pieces of ~ (2つ以上) を用いる。

L.15 You may find it hard to believe, but chocolate isn't just a sweet. 「信じがたいかもしれませんが、チョコレートはお菓子だけではありません」

- **find it hard to believe** 〈**find A B**〉は「(経験や試行から) A が B だとわかる, 知る」 find A to be B の形で用いられることもある。本文での A は形式目的語の it であり、その内容は後続する to believe である。 → **Structures and Expressions ①** : 形式目的語 it
- **just a sweet** (**just**) は「ただ, 単に, ほんの…」という意味の副詞。ex. It was just an ordinary day. — *OALD* (ただ普通の日でした) / It's not just me — there are other people involved as well. — *LDOCE* (私だけではありません, ほかにほかかわった人がいます)

L.17 Mole Poblano, a Mexican sauce for chicken, is made with chocolate, chili peppers, tomatoes, and other ingredients. 「モーレ・ポプラーノというチキンに使うメキシコのソースは、チョコレート、チリ・ペッパー (中南米産唐辛子)、トマト、その他の材料でできています」

- **Mole Poblano ... is made with ...** 〈**Mole Poblano**〉はメキシコの伝統料理で一般的に用いられるソース。チョコレートのほか、チリ、トマト、アーモンド、ごま、クローブ、ペッパー、シナモン、パン、トルティーヤなどが入っている。**be made with ~** は後続する chocolate, chili peppers, tomatoes, and other ingredients が材料, 原料を表し、「複数の素材を伴って」というニュアンスで with が用いられている。cf. **be made of ~** は「～でできている」という意味で、～には「材料」が入る。a table made of wood という表現では、テーブルの素材である木がそのままの形で用いられていることが見ただけでわかる。類似表現の **be made from ~** は、加工され、原形をとどめない「原料」を表す際に用いられる。ex. Paper is made from wood. — *LDOCE* (紙は木から作られる)
- **chicken** 無冠詞で用いられる chicken は、鶏肉や鶏肉料理を指す。a chicken (一羽のニワトリ) や chickens (複数羽のニワトリ) との対比を通して名詞形についての理解を促したい。
- **chili pepper** 中南米を原産とする、ナス科トウガラシ属の果実、またはそれから作られる辛味のある香辛料を指す (=the small green or red fruit of a type of pepper plant that is used in cooking to give a hot taste to food, often dried or made into powder, also called chilli or chilli powder — *OALD*)。胡椒 (pepper) とは関係がなく、コロンブスがインドと勘違いしてアメリカ大陸に渡った際、インドで栽培されている胡椒の一種であると考えたためであると言われている。15世紀以降、世界に広まっていた。

Get the Picture

1. **What do many people agree about chocolate?** (多くの人がチョコレートについて同意していることは何ですか)
【解答例】 They agree that chocolate is the king of all sweets. (チョコレートはお菓子の王様であるということに同意しています)
2. **Where are cacao beans mainly produced?** (カカオ豆は主にどこで生産されていますか)
【解答例】 They are mainly produced in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. (西アフリカやラテンアメリカの暑くて湿気の多い地域で主に生産されています)
3. **What is Mole Poblano?** (モーレ・ポブラーノとは何ですか)
【解答例】 It is a Mexican sauce for chicken, made with chocolate, chili peppers, tomatoes, and other ingredients. (チキンに使うメキシコのソースで、チョコレート、チリ・ペッパー (中南米産唐辛子)、トマト、その他の材料でできています)

Lesson 5 Part 2

LESSON 5 Chocolate: A Story of Dark and Light

2

The history of chocolate goes back to the ancient cultures of Central America. Chocolate in those days was a bitter drink. It was made by mixing ground cacao beans with water, chilies, corn powder, and other ingredients. The Mayas and then the Aztecs considered chocolate a sacred drink and also used it as a medicine. In Aztec society, it was drunk mainly by people of the ruling class. As cacao was a valuable food, it was also used as money.

When the Spanish arrived in the Americas in the 16th century, they came across this "chocolate drink." At first they did not like its bitter taste. But they came to love the drink after they made it sweet with sugar. This sweet chocolate was introduced to Europe and soon became popular with the rich.

New Words

- history** [ˈhɪstəri]
- ancient** [ˈɪnʃənt]
- grind** [ɡraɪnd]
- corn** [kɔːn]
- powder** [ˈpaʊdə]
- Maya [ˈmɑːiə]
- Aztec [ˈæzɪk]
- sacred** [ˈseɪkrɪd]
- ruling** [ˈruːlɪŋ]
- valuable** [ˈvæljuəbəl]
- Spanish [ˈspæɪnɪʃ]

Get the Picture

4. How was chocolate made in the ancient cultures of Central America?
 5. What did the Mayas and the Aztecs consider chocolate to be?
 6. How did the Spanish change the chocolate drink?

go back to ~ ex. The building goes back to Roman times.
 in those days ex. There weren't so many cars in those days.
 come across ~ ex. I came across a nice little restaurant in the city.
 become popular with ~ ex. That book has become popular with young people.

the Mayas 「マヤ族」 中央アメリカの先住民族。特に4～8世紀にかけて高度な文明を築いた。
the Aztecs 「アステカ族」 14～16世紀にメキシコ中央部に王国を築いた先住民族。王国は16世紀初めにスペイン人に滅ぼされた。
the Americas 「アメリカ大陸」

58 LESSON 5

5

In the 19th century, chocolate went through many changes. A Dutch man named Van Houten discovered a way to make chocolate powder, and this made chocolate easier to drink. A British company then succeeded in making "chocolate to eat" in the form of bars. This hard chocolate was mass-produced and found its way to the mouths of ordinary people.

Dutch [dʌtʃ]
Van Houten [væn haʊten]
British [brɪtɪʃ]
 mass-produce [ˈmæs prɒdʒ(ə)ʊz]

An Aztec woman pouring chocolate into a jar
 Inside a chocolate house in 18th century London

7. Who changed the chocolate drink into chocolate to eat?

find one's way to ~ ex. Bread found its way to Japan through the Portuguese.
Van Houten 「バン・ホーテン」 オランダ人の化学者・チョコレート製造業者

LESSON 5 59

【訳例】

チョコレートの歴史は中央アメリカの古代文化にさかのぼります。その頃のチョコレートは苦い飲み物でした。それは、細かく砕いたカカオ豆に水、トウガラシ、トウモロコシの粉、その他の材料を混ぜ合わせて作られていました。マヤ族、そしてその後、アステカ族はチョコレートを聖なる飲み物として考えていました。薬としても用いていました。アステカの社会では、チョコレートは主に支配者層に飲まれていました。また、カカオは貴重な食べ物だったので、お金としても使われていました。スペイン人が16世紀にアメリカ大陸にやってきたとき、この「チョコレート飲料」に出会いました。当初、彼らはその苦い味を好みませんでした。しかし、砂糖でこのチョコレートを甘くしてから、この飲み物を好むようになりました。この甘いチョコレートはヨーロッパに紹介され、すぐに裕福な人びとの間で人気を博すようになりました。

19世紀になると、チョコレートは多くの変革を遂げました。バン・ホーテンというオランダ人がチョコレートの粉末(ココア)の作り方を発見し、このことがチョコレートをより飲みやすいものになりました。その後、イギリスの会社が、板状の「食べるチョコレート」を作ることに成功しました。この固いチョコレートは大量生産され、普通の人びとの口へ入るようになったのです。

【図版解説】

- ・16世紀にメキシコで書かれた絵文書より。アステカ族の女性が、チョコレートを泡立てるために、別の容器に注いでいるところ。(p.59左)
- ・18世紀のロンドンのチョコレートハウス(チョコレートを供する店)のようす。社交場として利用された。(p.59右)

Summary

The history of chocolate goes back to ancient Central America. In those days, chocolate was a bitter drink. It was considered a sacred drink and also used as a medicine by the Mayas and Aztecs. In the 16th century, the Spanish changed this drink into a sweet drink by adding sugar. In the 19th century, Van Houten invented chocolate powder. A British company then succeeded in making “chocolate to eat” in the form of bars.

チョコレートの歴史は、古代の中央アメリカまでさかのぼります。当時、チョコレートは苦い飲み物でした。マヤ族やアステカ族によって、チョコレートは聖なる飲み物として考えられ、薬としても利用されました。16世紀、スペイン人が砂糖を加えることによって、この飲み物を甘い飲み物に変えました。19世紀には、バン・ホーテンがチョコレートの粉末を発明しました。その後、イギリスの会社が、板状の「食べるチョコレート」を作ることに成功しました。

L.1 The history of chocolate goes back to the ancient cultures of Central America. 「チョコレートの歴史は中央アメリカの古代文化にさかのぼります」

- **goes back to the ancient cultures ...** 〈go back to ~〉は「～までさかのぼる」という意味。
脚注 The building *goes back to* Roman times. (その建物はローマ時代までさかのぼる)
- **Central America** メキシコ南部からパナマまでの地域を指す。

カカオ栽培の起源

マヤ文明が築かれた地域では、定住生活が始まった紀元前1100年ごろに、カカオがすでに用いられていたと推定されている。また、「カカオ」という言葉がオルメカ文明の地域のものであるため、オルメカ文明がカカオ文化の起源であるとも考えられている。(参考：加藤由基雄・八杉佳穂『チョコレートの博物誌』小学館、1996年)

L.2 Chocolate in those days was a bitter drink. 「その頃のチョコレートは苦い飲み物でした」

- **in those days** 「その当時は」
脚注 There weren't so many cars *in those days*. (その当時はそんなに車は多くなかった)

L.3 It was made by mixing ground cacao beans with water, chilies, corn powder, and other ingredients. 「それは、細かく砕いたカカオ豆に水、トウガラシ、トウモロコシの粉、その他の材料を混ぜ合わせて作られていました」

- **by mixing ground cacao beans with water ...** 〈by ~ing〉は「～することによって」という意味。「手段」を表す際に用いる。ex. Open the file *by clicking* on the icon. — CALD (アイコンをクリックして、ファイルを開きなさい) **ground** は grind 「(臼・機械で) ~を挽く, すりつぶす, 砕く」の過去分詞形で, cacao beans を修飾している。grind の活用は grind-ground-ground. ex. Shall I *grind* a little black pepper over your pizza? — CALD (ピザに黒コショウを挽いてかけましょうか)

L.5 The Mayas and then the Aztecs considered chocolate a sacred drink and also used it as a medicine. 「マヤ族、そしてその後、アステカ族はチョコレートを聖なる飲み物として考えていました。薬としても用いていました」

- **The Mayas and then the Aztecs** 「マヤ族、そしてその後、アステカ族」〈the + 国名 [民族] を表す名詞 [形容詞]〉で、「～人、～族」と国民 [民族] の総称を表し、複数扱いになる。
- **considered chocolate a sacred drink** 〈consider A (to be) B〉は「AをBとみなす」という意味。ex. He is currently *considered (to be)* the best British athlete. — CALD (彼は現在英国最高の選手と考えられている) 最近では, **consider A as B** の形で使うこともある。類似表現に, **think of A as B** と **regard A as B** がある。ex. I *think of* this place *as* my home. — OALD (私はこの場所を自分の故郷だと思っている) / He seemed to *regard* the whole thing *as* a joke. — OALD (彼はその事全体を冗談だとみなしているようだった)

マヤ文明とアステカ文明

マヤ文明

4～8世紀を中心に、メキシコ南東部、グアテマラ、ベリーズなどに栄えた、複数の都市国家からなる文明。高度な建築技術を用いたピラミッド型の建築物や、二十進法による数の表記法、精密な天文暦を作り出した。また、独特な象形文字から成り、字種が4万種に及ぶマヤ文字を使用していた。

アステカ文明

1428年ごろから1521年まで、北米のメキシコ中央部に栄えた文明。ティノチティトランを首都とする統一国家を建設した。多神教に基づく神権政治のもと、政治的・軍事的に複雑な社会組織が構成されていた。言語はナワトル語で、象形文字および絵文字が使われていた。土木や建築などの技術に優れ、天体観測によって精巧な暦を用いていた。スペイン人コルテスの征服によって滅亡。

L.7 In Aztec society, it was drunk mainly by people of the ruling class. 「アステカの社会では、チョコレートは主に支配者層に飲まれていました」

- **the ruling class** 「支配階級, 支配者層」この **ruling** は「支配している, 権力の座にある」の意味。ex. The Communists are *the ruling party* at the moment. — CALD (現時点では共産党が与党だ)

L.8 As cacao was a valuable food, it was also used as money. 「カカオは貴重な食べ物だったので、お金としても使われていました」

- **As cacao was a valuable food** 〈as〉は「理由」を表す副詞節を導く従属接続詞で、「～なので」という意味を表す。**food** が形容詞を伴って「(ある特定のタイプの) 食べ物, 食品」の意味を表す場合は、具体性が高くなるため、可算名詞扱いになる。ex. I'm allergic to certain *foods*. — CALD (私はある種の食品にアレルギーがある)

マヤ、アステカにおけるチョコレートの用途

マヤ文明やアステカ文明において、チョコレートは、宗教的な儀式で神々への捧げものとして用いられたり、結婚式や葬式の際に飲まれたりした。また、解熱剤や強壮剤のほか、歯痛、炎症、消化不良など、さまざまな病気に効く万能薬として用いられていた。(参考：八杉佳穂『チョコレートの文化誌』世界思想社、2004年)

L.10 When the Spanish arrived in the Americas in the 16th century, they came across this “chocolate drink.” 「スペイン人が16世紀にアメリカ大陸にやってきたとき、この『チョコレート飲料』に出会いました」

- **the Americas** 北アメリカ, 中央アメリカ, 南アメリカを含む「アメリカ大陸」を指す。

- **came across this “chocolate drink”** 〈**come across** ~〉は「~ (人・物) に偶然出くわす、発見する」 (= to meet or find somebody / something by chance - *OALD*) という意味。

脚注 I came across a nice little restaurant in the city. (私は町ですてきな小さなレストランを見つけました)

L.12 At first they did not like its bitter taste. 「当初、彼らはその苦い味を好みませんでした」

- **at first** 「最初は、初めのは」 (= used to talk about the beginning of a situation, especially when it is different now - *LDOCE*) 後ろに But, However などの「逆接」の文が続くことを予想させたい。

L.12 But they came to love the drink after they made it sweet with sugar. 「しかし、砂糖でこのチョコレートを甘くしてから、この飲み物を好むようになりました」

- **came to love the drink** 〈**come to do**〉は「~するようになる」という意味。do (動詞の原形) の部分には, believe, know, realize, understand, accept, respect など、「認識」や「態度」を表す動詞が入る。略式では, get to know のように, get を使うこともある。ex. I came to believe that he was innocent after all. - *LDOCE* (私は、やはり彼が無実であると信じるようになった) / After a while, I got to like him. - *LDOCE* (しばらくして私は彼が好きになった) **come [get] to do** (~するようになる) における to do が不定詞のどの用法であるかを断定することは難しく、例えば, come to like it の場合、意味の中心は like にあり, come to は一種の助動詞的なものとして機能する。

L.14 This sweet chocolate was introduced to Europe and soon became popular with the rich. 「この甘いチョコレートはヨーロッパに紹介され、すぐに裕福な人びとの間で人気を博すようになりました」

- **became popular with the rich** 〈**become popular with** ~〉は「(人) の間で人気が出る」という意味。with の代わりに among が使われることもある。**the rich** は「裕福な人びと」 (= rich people) 〈**the** + 形容詞〉の形で「~な人びと」という意味を表す。the を付けることで、人びとが一つのカテゴリ (集合体) としてまとまる。この〈**the** + 形容詞〉は複数扱いになる。

脚注 That book has become popular with young people. (その本は若者の間で人気となっている)

the + 形容詞

「~な人びと」を表す (the + 形容詞) には, the rich [wealthy] (裕福な人びと), the poor [needy] (貧しい人びと), the homeless (家のない人びと), the old [elderly] (お年寄り), the young (若者), the disabled (体の不自由な人びと), the unemployed [jobless] (失業者) などがある。

なお、〈**the** + 形容詞〉は、「~な人びと」以外に、「~なもの」「~なこと」という意味になることもある。この場合は単数扱いになる。ex. the beautiful (美しいもの), the impossible (不可能なこと)

L.16 In the 19th century, chocolate went through many changes. 「19世紀になると、チョコレートは多くの変革を遂げました」

- **went through many changes** 〈**go through** ~〉は「~を経験する、~を経る」 (= to experience a particular process - *LDOCE*) という意味。ex. Caterpillars go through several stages of growth. - *LDOCE* (イモムシはいくつかの成長段階を経る)

L.17 A Dutch man named Van Houten discovered a way to make chocolate powder, and this made chocolate easier to drink. 「バン・ホーテンというオランダ人がチョコレートの粉末 (コ

コア) の作り方を発見し、このことがチョコレートをより飲みやすいものになりました」

- **A Dutch man named Van Houten** 〈**named**〉は動詞 name の過去分詞形で, named Van Houten が A Dutch man を修飾している。**name A B** は「A を B と名づける」の意味。

- **to make chocolate powder** a way を修飾する不定詞の形容詞的用法。→ **Focus** : 不定詞

- **made chocolate easier to drink** 〈**make A B**〉は「A を B にする」という意味。B の部分には、名詞、形容詞、過去分詞などが入る。ex. It's the good weather that makes Spain such a popular tourist destination. - *CALD* (穏やかな気候のおかげで、スペインは人気の観光地です) / You've made me very happy. - *CALD* (あなたのおかげで私はとても嬉しくなりました) / I can make myself understood in French, but I'm not fluent. - *CALD* (私のフランス語は通じますが、流暢ではありません) **easy to do** は「(人・物が) ~しやすい」という意味。ex. She's very easy to talk to. - *CALD* (彼女は非常に話しやすい) **to drink** は形容詞 easy を修飾する不定詞の副詞的用法。→ **Focus** : 不定詞

Van Houten によるココアの発明

1828年、オランダの Coenraad Johannes van Houten (コンラッド・ヨハネス・バン・ホーテン) が、脂肪分が少ない粉末チョコレート (ココア) の製法を開発した。カカオ豆はその50%が脂肪分であるため、従来のチョコレートは脂っこくて消化が悪く、飲みやすいものではなかった。コンラッドは、圧搾機でカカオ豆の脂肪を搾り出し、低脂肪の固形分を分離することに成功。それを細かい粉末状にしてココアを作った。ココアの誕生によって、チョコレートは、作るのが簡単で飲みやすい飲み物になった。なお、このココア製法を開発したのはコンラッドではなく、その父の Casparus van Houten (カスパルス・バン・ホーテン) であるとする説もある。

L.19 A British company then succeeded in making “chocolate to eat” in the form of bars. 「その後、イギリスの会社が、板状の『食べるチョコレート』を作ることに成功しました」

- **A British company** Joseph Fry (ジョゼフ・フライ) が経営する Fry 社のこと。1847年に、砂糖入りのココアの粉末に、カカオバターを加えて成型し、「板チョコ」を作った。

- **succeeded in making “chocolate to eat”** 〈**succeed in doing**〉は「~することに成功する、うまく~することができる」という意味。ex. The campaign has certainly succeeded in raising public awareness of the issue. - *CALD* (そのキャンペーンは確かにその問題に関する国民の意識を高めることに成功している) **to eat** は chocolate を修飾する不定詞の形容詞的用法。→ **Focus** : 不定詞

- **in the form of bars** 〈**in the form of** ~〉で「~の形で、~状の、~の形式で」の意味。ex. The main staircase was in the form of a big 'S'. - *LDOCE* (そのメインの階段は大きなS字型をしていた)

L.21 This hard chocolate was mass-produced and found its way to the mouths of ordinary people. 「この固いチョコレートは大量生産され、普通の人びとの口へ入るようになったのです」

- **mass-produce** 他動詞で、「~を大量生産する」 (= to produce a lot of goods cheaply using machines in a factory - *CALD*) という意味。

- **found its way to the mouths of ordinary people** 〈**find one's way to** ~〉は「~にたどり着く、~に届けられる」という意味。

脚注 Bread found its way to Japan through the Portuguese. (パンはポルトガル人を通して日本にたどり着いた)

Get the Picture

4. How was chocolate made in the ancient cultures of Central America? (中央アメリカの古代文化においてはチョコレートはどのように作られていましたか)

【解答例】 It was made by mixing ground cacao beans with water, chilies, corn powder, and other ingredients. (細かく砕いたカカオ豆に水、トウガラシ、トウモロコシの粉、その他の材料を混ぜ合わせて作られました)

5. What did the Mayas and the Aztecs consider chocolate to be? (マヤ族やアステカ族はチョコレートを何であると考えていましたか)

【解答例】 They considered it (to be) a sacred drink (and also used it as a medicine). (聖なる飲み物であると考えていました (そして、薬としても用いていました。))

6. How did the Spanish change the chocolate drink? (スペイン人はチョコレート飲料をどのように変えましたか)

【解答例】 They made it sweet with sugar. (砂糖で甘くしました)

7. Who changed the chocolate drink into chocolate to eat? (だれがチョコレート飲料を食べるチョコレートに変えましたか)

【解答例】 A British company did. (イギリスの会社が変えました)

Lesson 5 Part 3


LESSON 5 Chocolate: A Story of Dark and Light

3

Although chocolate has been loved for centuries, there is a dark side to the story. After the 16th century, chocolate became more and more popular in Europe, and so more cacao was needed to produce it. Spain and other European countries set up cacao plantations in Latin America and used local people for labor. They also brought in hundreds of thousands of African people to their plantations for slave labor. They later set up cacao plantations in Africa as well and forced local people to work there.

New Words

Spain [speɪn]
European [jʊərəˈpi:ən]
plantation [plɑːntɪˈeɪʃən]
labor [ˈleɪbər]
African [æˈfrɪkən]
slave [sleɪv]
force [fɔːrs]



A child who works on a cacao plantation

Get the Picture

8. Why did Spain and other European countries set up cacao plantations?
9. Who was forced to work at the plantations in Latin America?

set up ~ ex. She left the company to set up her own business.
hundreds of thousands of ~ ex. Hundreds of thousands of people visit the museum every year.
as well ex. He is a musician and a writer as well.

plantation 「プランテーション、大農場」 熱帯・亜熱帯地域の植民地で、先住民や黒人奴隷の労働力を使って、単一の農産物を大量に生産した。

60 | LESSON 5

【訳例】

何世紀にもわたって、チョコレートは人びとに愛されてきました。しかし、チョコレートの話には、暗い側面もあるのです。16世紀以降、ヨーロッパで、チョコレートの人気が高まった結果、さらに多くのカカオがチョコレートを作るために必要になり、スペインや他のヨーロッパ諸国は、ラテンアメリカにカカオのプランテーションを作って、その地域の人びとを労働力として使いました。また、それらの国々は何十万ものアフリカの人びとを、奴隷労働のために自分たちのプランテーションに連れてきました。彼らは後にアフリカにもカカオのプランテーションを作り、その地域の人びとをそこで強制的に働かせたのです。


5

Today, several problems still remain in some of those areas. An especially serious problem is children who can't go to school because they must work on the plantations. A Canadian journalist once reported on the huge gap between these children and the children who eat chocolate on their way to school in North America. In fact, most of the children on the plantations have never eaten or even seen chocolate.

Canadian [kənæˈdi:ən]
journalist [dʒɜːrnəlɪst]

Fair-trade chocolate WINDOW 1

Fair-trade chocolate tries to deal with the problem of child labor. Under the fair-trade system, farmers and laborers at cacao plantations are paid a fair price. If laborers are paid fairly, children do not have to work to help their families.



10. What is a serious problem on cacao plantations today?

on one's way to ~ ex. We had an accident on our way to the airport.

LESSON 5 | 61

今日でも、それらのいくつかの地域にはいくつかの問題が残っています。特に深刻な問題は、プランテーションで働かなければならないため学校へ通えない子どもたちのことです。あるカナダ人ジャーナリストは、かつて、こうした子どもたちと、チョコレートをかじりながら通学する北アメリカの子どもたちの間の途方もない差について、レポートしたことがあります。実は、プランテーションの子どもたちの多くは、これまでにチョコレートを食べたこともなければ、見たこともないのです。

【図版解説】

カカオ農園で働く子ども (p.60)

Summary

Chocolate has been loved for centuries but it has a dark side. After the 16th century, chocolate became more and more popular, and so more cacao was needed. Cacao plantations were set up in Latin America by European countries. Local people and slaves from Africa were forced to work there. Today, some of the children who work on cacao plantations can't go to school because they must work there.

何世紀にもわたってチョコレートは愛されてきましたが、暗い側面があります。16世紀以降、チョコレートの人気ますます高まり、より多くのカカオが必要になりました。ラテンアメリカには、ヨーロッパ諸国によってカカオ・プランテーションが作られました。そこでは、その地域の人びとやアフリカから連れてこられた奴隷が強制的に働かされました。今日、カカオ・プランテーションで働く子どもたちの中には、そこで働かなければならないために、学校に行くことができない子どもたちもいます。

L.1 Although chocolate has been loved for centuries, there is a dark side to the story. 「何世紀にもわたって、チョコレートは人びとに愛されてきました。しかし、チョコレートの話には、暗い側面もあるのです」

- **for centuries** 「何世紀にもわたって」 *cf.* **for decades** 「数十年の間」、**for years** 「長年、何年もの間」、**for ages** 「長い間」 *ex.* Simon! I haven't seen you *for ages*. — *LDOCE* (サイモン、本当に久しぶりだね)
- **a dark side** 「暗い側面、影の側面」 この dark は「悪意ある、ぞっとするような」(=evil or frightening — *OALD*) という意味。

L.2 After the 16th century, chocolate became more and more popular in Europe, and so more cacao was needed to produce it. 「16世紀以降、ヨーロッパで、チョコレートの人気が高まった結果、さらに多くのカカオがチョコレートを作るために必要になりました」

- **more and more popular** 「ますます人気の」 〈**more and more + 形容詞・副詞の原級**〉の形で、「ますます～、どんどん～」という意味を表し、「程度」が増していくことを表す。形容詞・副詞の -er 型の場合は、darker and darker のように、2つの同一の比較級を and で結ぶ。
- **more cacao was needed to produce it** 〈**to produce**〉は「目的」を表す不定詞の副詞的用法。→ **Focus** : 不定詞

L.5 Spain and other European countries set up cacao plantations in Latin America and used local people for labor. 「スペインや他のヨーロッパ諸国は、ラテンアメリカにカカオのプランテーションを作って、その地域の人びとを労働力として使いました」

- **set up cacao plantations** 〈**set up** ～〉は「〈施設・事業・制度・組織などを〉設立する、設ける」(=establish) という意味。スペインのほかに、ポルトガル、イギリス、フランスなどがカカオのプランテーションを作った。

脚注 She left the company to *set up* her own business. (彼女は自分の会社を設立するために会社を辞めた)

L.7 They also brought in hundreds of thousands of African people to their plantations for slave labor. 「また、それらの国々は何十万ものアフリカの人びとを、奴隷労働のために自分たちのプランテー

ションに連れてきました」

- **brought in hundreds of thousands of African people** 〈**bring in** ～ / **bring** ～ **in**〉で「〈人々を〉呼び入れる、連れてくる」の意味。 *ex.* We need to *bring in* an expert to deal with this problem. — *CALD* (私たちはこの問題を処理するために専門家を連れてくる必要がある) **hundreds of thousands of** ～は「何十万もの～」という意味。

脚注 *Hundreds of thousands of* people visit the museum every year. (毎年、何十万もの人たちがその美術館を訪れる)

L.9 They later set up cacao plantations in Africa as well and forced local people to work there. 「彼らは後にアフリカにもカカオのプランテーションを作り、その地域の人びとをそこで強制的に働かせたのです」

- **as well** 文尾に置かれ、「～も (また)、その上」という意味を表す。
脚注 He is a musician and a writer *as well*. (彼は音楽家でもあり、作家でもある)
- **forced local people to work there** 〈**force A to do**〉は「A (人) に強制して～させる」という意味。 *ex.* You can't *force* her to *make* a decision. — *CALD* (あなたは彼女に無理やり決心させることはできない) 類義語に **compel** と **oblige** がある。 **compel A to do** は、「A (人) に～することを強いる」の意味。 *ex.* She felt *compelled* to *resign* because of the scandal. — *LDOCE* (彼女はそのスキャンダルのために辞職せざるをえないと感じた) **oblige A to do** は、「(法律・規則・状況などが) A (人) に～することを義務づける」の意味。 *ex.* Parents are *obliged* by law to *send* their children to school. — *OALD* (親は自分の子どもを学校に通わせることを法律で義務づけられている) → **Structures and Expressions ②** : 動詞 + A + to do

L.11 Today, several problems still remain in some of those areas. 「今日でも、それらのいくつかの地域にはいくつかの問題が残っています」

- **several problems** 〈**several**〉は後に複数形の名詞を伴って「いくつかの」(=more than two but not very many — *OALD*) という意味を表す。 a few 「2, 3の～」より多く、many 「多数の～」までいかない「数」を表す。 *ex.* *Several* people have volunteered to go. — *LDOCE* (何人かの人が行こうと名乗り出た)
- **remain** 「残る」 後ろに補語をとり、「～のままである」という意味を表すことも多い。 *ex.* In spite of their quarrel, they *remain* the best of friends. — *OALD* (けんかはしたが、彼らは親友のまま)

L.12 An especially serious problem is children who can't go to school because they must work on the plantations. 「特に深刻な問題は、プランテーションで働かなければならないため学校へ通えない子どもたちのことです」

- **go to school** 〈**school**〉は不可算名詞扱い。同じような表現に、go to *class* 「授業に行く」、go to *church* 「教会に行く」などがある。
- **who can't go to school** 〈**who**〉は主格の関係代名詞。先行詞は直前の children.
- **they must work on the plantations** 〈**must**〉は強制力が働き、「それ以外に選択肢がない」というニュアンスを表す。

カカオ生産と児童労働

西アフリカのガーナ、コートジボアール、ナイジェリア、カメルーンの4か国で、カカオ農園での児童労働の調査が行われた。2002年に発表された調査結果によると、これらの国で約28万人の子どもがカカオ農園で働いていた。カカオ農園の多くは家族経営で、子どもが家の手伝いとして働くケースもあるが、約1万2千人の子どもが、縁戚関係がない農園で働いており、約2500人は人身売買によって他国から連れてこられた可能性があるという。また、カカオ農家の子ども（6～17歳）のうち3分の1が、一度も学校に行ったことがないことがわかった。

家族経営のカカオ農家の多くは、生産コストに見合った安定した収入を得られず、貧しい生活を強いられている。カカオ豆の価格が国際取引で決められるため、価格が下がると生産農家にしわ寄せがいたり、流通手段がないために仲買人に安く買い叩かれることなどがその原因である。そのため、カカオ農家は生産コストを下げるために、子どもを労働力として使わざるを得ないという現実がある。

L.14 A Canadian journalist once reported on the huge gap between these children and the children who eat chocolate on their way to school in North America. 「あるカナダ人ジャーナリストは、かつて、こうした子どもたちと、チョコレートをかじりながら通学する北アメリカの子どもたちの間の途方もない差について、レポートしたことがあります」

■ **A Canadian journalist** Carol Off (キャロル・オフ) というジャーナリストを指す。本課の英文作成の参考にした、*Bitter Chocolate: The Dark Side of the World's Most Seductive Sweet* (New Press, 2008) (翻訳版: 『チョコレートの実態』 英治出版) の著者。

■ **reported on the huge gap** 〈report on ~〉は「~について報告する」という意味。gap は「大きな相違・隔たり」(= a big difference between two situations, amounts, groups of people etc - LDOCE) の意味。gap between A and B の形で、「A と B の間の大きな相違」という意味を表す。ex. The gap between rich and poor is still widening (= becoming greater). - CALD (富裕層と貧困層との間の差が今でも広がっている)

■ **who eat chocolate on their way to school** 〈who〉は主格の関係代名詞で、先行詞は直前の the children. **on one's way to ~** は「(場所) に行く途中で」という意味。

脚注 We had an accident on our way to the airport. (私たちは空港に行く途中で事故に遭った)

L.17 In fact, most of the children on the plantations have never eaten or even seen chocolate. 「実は、プランテーションの子どもたちの多くは、これまでにチョコレートを食べたこともなければ、見たこともないのです」

■ **in fact** 「実際には、実のところ」 I used to live in France; in fact, not far from where you're going. - OALD (私はかつてフランスに住んでいました。実は、あなたが行くところとそれほど離れていません)

■ **have never eaten or even seen chocolate** 「経験」を表す現在完了形。否定文では never を使うことが多い。

Get the Picture

8. Why did Spain and other European countries set up cacao plantations? (なぜスペインや他のヨーロッパ諸国はカカオのプランテーションを作ったのですか)

【解答例】 Because chocolate became more and more popular in Europe, and more cacao was needed to

produce it. (ヨーロッパでチョコレートの人気が増え高まり、その生産のためにより多くのカカオが必要とされたからです)

9. Who was forced to work at the plantations in Latin America? (ラテンアメリカのプランテーションで、だれが強制的に働かされましたか)

【解答例】 Local people and hundreds of thousands of African people were. (地域の人びとと、何十万ものアフリカ人が働かされました)

10. What is a serious problem on cacao plantations today? (今日のカカオのプランテーションにおける深刻な問題は何ですか)

【解答例】 Some children can't go to school because they must work on the plantations. (プランテーションで働かなければならないため、学校に通えない子どもたちがいることです)

WINDOW 1 フェアトレード・チョコレート

【訳例】

フェアトレード・チョコレートは、児童労働の問題に取り組むものです。フェアトレードの仕組みのもとでは、カカオ農園の生産者と労働者に適正な賃金が支払われます。もし労働者に適正な賃金が支払われれば、子どもたちは家族を助けるために働く必要はありません。


Lesson **5** Part 4

LESSON 5 Chocolate: A Story of Dark and Light

4

Chocolate has a history that goes back 3,000 years, and its wonderful flavor has been loved by millions through the ages. The story of chocolate continues to this day. In addition to being a key ingredient in chocolate, cacao is also used in various other everyday products.

Have you ever used some skin care products such as lip balm or body cream? Some of these cosmetics contain cocoa butter. Cocoa butter is extracted from cacao and is good for softening skin.



Skin cream (left) and lip balm (right) which contain cocoa butter

New Words

- addition [ə'dɪʃən]
- lip [lɪp]
- balm [bɑːm]
- cosmetics [kɒsmɛtɪks]
- cacao [kə'kɑʊ]
- extract [ɪk'strækt]
- soften [sɒfən]

Get the Picture

11. How long does the history of chocolate go back?
12. In what kind of cosmetics is cacao used?


in addition to ~ ex. In addition to being a music teacher, she plays in a band.

62 LESSON 5

5

We can even find toothpaste made from cacao. Chocolate-based toothpaste may sound strange, but a substance called theobromine in cacao can make teeth stronger. "Ironically, there is something in chocolate that can build healthier teeth," said the president of a toothpaste company.

Research on what chocolate and cacao can do for human health has just begun. We can look forward to new developments in the future. Chocolate is not only the "king of all sweets." It also has great potential to improve our lives.



Chocolate-based toothpaste

toothpaste [tu:θpeɪst]

- substance [sʌbstəns]
- theobromine [θiə'brɒmɪn]
- ironically [aɪ'renɪkəlɪ]
- president [prɪ'zɪdənt]
- development [dɪ'veləpmənt]
- potential [pə'tenʃəl]
- improve [ɪm'pruː]

13. Why is chocolate-based toothpaste good for teeth?

LESSON 5 63

【訳例】

チョコレートには3000年さかのぼる歴史があり、そのすばらしい風味は長い年月にわたって多くの人たちに愛されてきましたが、チョコレートの物語は現在でもなお続いています。カカオは、チョコレートの主原料であるだけでなく、他の数多くの日用品にも使われています。

リップクリームやボディクリームのようなスキンケア用品を使ったことはありますか。こうした化粧品のいくつかはココアバターを成分として含んでいます。ココアバターはカカオから抽出され、肌を滑らかにするのに効果があります。

カカオから作られた練り歯磨きだってあります。チョコレートを主成分とする練り歯磨きなんて変だと思いませんか、カカオに含まれるテオブロミンと呼ば

れる物質が歯を強くするのです。「皮肉なことですが、より健康な歯を作る物質がチョコレートの中にはあります」と、ある練り歯磨きを作る会社の社長は語っています。

チョコレートやカカオが人間の健康に及ぼす影響に関する研究は、まだ始まったばかりです。今後さらに新たな進展が期待できるでしょう。チョコレートは、単にお菓子の王様であるだけではありません。私たちの生活をより良くするための大きな可能性も秘めているのです。

【図版解説】

- ・ココアバターを含んだボディクリーム（左）とリップクリーム（右）（p.62）
- ・チョコレートを主成分とする練り歯磨き（p.63）

Summary

The history of chocolate goes back 3,000 years, but the story of chocolate continues to this day. Cacao is used in everyday products such as lip balm and body cream. They contain cocoa butter. Even a kind of toothpaste is made with cacao. A substance called theobromine in cacao can strengthen teeth. Research on the benefits of chocolate and cacao on human health has just begun.

チョコレートの歴史は、3000年さかのぼりますが、チョコレートの話は今日まで続いています。カカオは、リップクリームやボディクリームのような日用品の中で使われています。それらにはココアバターが含まれています。カカオで作られたタイプの練り歯磨きさえあります。カカオに含まれるテオブロミンと呼ばれる物質が歯を強くするのです。チョコレートやカカオが人間の健康に及ぼす利点に関する研究は、まだ始まったばかりです。

英文解説

L.1 **Chocolate has a history that goes back 3,000 years, and its wonderful flavor has been loved by millions through the ages.** 「チョコレートには3000年さかのぼる歴史があり、そのすばらしい風味は長い年月に渡って多くの人たちに愛されてきました」

■ **that goes back 3,000 years** 先行詞 a history を修飾する関係代名詞節。

■ **by millions** 後には of people が続くが、自明であるため省略されている。

■ **through the ages** 〈ages〉には「長い間」という意味がある。ex. It's ages since we've played that game. — LDOCE（そのゲームをしたのはずいぶん前だね）

L.3 **The story of chocolate continues to this day.** 「チョコレートの物語は現在でもなお続いています」

■ **to this day** 「現在〔今日〕に至るまで」 ex. To this day, I still don't understand why he did it. — OALD（私は今でも、彼がなぜそのようなことをしたのか理解できません）

L.4 **In addition to being a key ingredient in chocolate, cacao is also used in various other everyday products.** 「カカオは、チョコレートの主原料であるだけでなく、他の数多くの日用品にも使われています」

■ **In addition to being a key ingredient** 〈in addition to ~〉は「～に加えて、～だけではなく」前置詞句として、情報を追加する際に用いられる。本文では、being a key ingredient in chocolate という動名詞が続いている。

脚注 In addition to being a music teacher, she plays in a band.（音楽の先生であることに加えて、彼女はバンドでも演奏している）

■ **everyday products** 〈everyday〉は「毎日の、日々の」という意味の形容詞。副詞の every day と混同しないように注意が必要。ex. Computers are now part of everyday life. — CALD（コンピュータは今や日々の生活の一部となっています）

L.7 **Have you ever used some skin care products such as lip balm or body cream?** 「リップクリームやボディクリームのようなスキンケア用品を使ったことはありますか」

■ **lip balm** 「リップクリーム」 (= a type of cream that is used to keep the lips soft or to help sore

lips feel better — *CALD*) アメリカでは商品名である Chap Stick も広く使われている。リップクリームは和製英語。「リップクリームを塗る」は、*put on some lip balm* となる。

- **body cream** 「ボディクリーム」肌の保湿や、失われた水分を補給することを目的として使用するクリーム (= a soft substance or thick liquid used on your skin to protect it or make it feel soft — *OALD*)

L.8 Some of these cosmetics contain cocoa butter. 「こうした化粧品のいくつかはココアバターを成分として含んでいます」

- **cosmetics** 「化粧品全般」 (= substances that you put on your face or body to improve your appearance. — *CALD*) を指す。「化粧をする」は、*put on [apply] cosmetics [make-up]* と言い、「化粧を落とす」は、*take off cosmetics [make-up]* と言う。
- **contain cocoa butter** 〈**contain**〉は「～を含む」 (= if something contains something else, it has that thing inside it or as part of it — *OALD*) という意味。 *ex.* This drink doesn't contain any alcohol. — *OALD* (この飲み物にはアルコールはっさい含まれていません)

L.9 Cocoa butter is extracted from cacao and is good for softening skin. 「ココアバターはカカオから抽出され、肌を滑らかにするのに効果があります」

- **Cocoa butter is extracted ...** 〈**extract**〉は「～を抽出する、抜き取る、抜粋する」 (= to carefully remove a substance from something which contains it, using a machine, chemical process etc — *LDOCE*) という意味。 *ex.* Oils are extracted from the plants. — *LDOCE* (油は植物から抽出される) / You'll have to have that tooth extracted. — *LDOCE* (その歯を抜いてもらわなければいけません) 名詞として「一部分、抜粋」の意味でも用いられる。 *ex.* I've only seen short extracts from the film. — *LDOCE* (私はその映画の一部分しか見ていません)
- **and is good for softening skin** and の後には、it (= cocoa butter) が省略されている。 **be good for** ～は「～によい、～に役立つ」の意味。後ろには名詞情報が続く。本文では、動名詞句の softening skin (肌を滑らかにすること) が続いている。 *ex.* Too much sun isn't good for you. — *OALD* (太陽の光を浴びすぎるのはよくありません) / Exercise is good for you. — *CALD* (運動をすることはよいことです)

L.11 We can even find toothpaste made from cacao. 「カカオから作られた練り歯磨きだってあります」

- **even** 「～でさえ」という意味の副詞で、引き合いに出した例が極端で特殊であることを強調する。 *ex.* He became quite successful and even appeared on a television show once. — *LDOCE* (彼はかなりの成功を収め、一度テレビ番組に出たことさえある)
- **made from cacao** toothpaste を修飾する過去分詞の形容詞的用法。過去分詞は「何か(すでに)なされた」という状況を表す。カカオが原料として加工されて練り歯磨きが作られるので、of ではなく from が用いられている。

L.12 Chocolate-based toothpaste may sound strange, but a substance called theobromine in cacao can make teeth stronger. 「チョコレートの主成分とする練り歯磨きなんて変だと思いかもかもしれませんが、カカオに含まれるテオブロミンと呼ばれる物質が歯を強くするのです」

- **Chocolate-based toothpaste** 〈**-based**〉は対象の主な特徴を記述する際に用いられる (= used to describe the basic feature or part of something — *LDOCE*) *ex.* project-based learning (プロジェクトを軸とした学習) / computer-based testing (コンピュータを活用した試験)
- **sound strange** 〈**sound + 形容詞**〉で「～のように聞こえる [思われる]、～みたいだ」 (= to give a particular impression when heard or read about — *OALD*) という意味を表す。 *ex.* His explanation

sounds reasonable to me. — *OALD* (彼の説明は合理的に聞こえた) / Your job sounds really interesting. — *CALD* (あなたの仕事はとてもおもしろそうだ)

- **called theobromine** a substance を修飾する過去分詞の形容詞的用法。theobromine は、カカオの種子に含まれる化学物質の一種。チョコレートやココアの苦味成分であり、自然界ではほぼカカオのみに含まれている。中枢神経興奮薬・利尿薬としても用いられる。

L.14 “Ironically, there is something in chocolate that can build healthier teeth,” said the president of a toothpaste company. 「『皮肉なことですが、より健康な歯を作る物質がチョコレートの中にはあります』と、ある練り歯磨きを作る会社の社長は語っています」

- **ironically** 「皮肉にも」という意味の副詞。 *ex.* Ironically, his cold got better on the last day of his holiday. — *LDOCE* (皮肉にも、彼の風邪は休暇の最終日に治った) *cf.* irony 「皮肉」 (= a situation that is unusual or amusing because something strange happens, or the opposite of what is expected happens or is true — *LDOCE*) という意味の名詞。
- **that can build healthier teeth** 主格関係代名詞 that によって導かれる形容詞節。先行詞は something である。この文のように、先行詞と関係代名詞節の間に前置詞句 (ここでは in chocolate) などの情報が入ることも多く見られる。

L.17 Research on what chocolate and cacao can do for human health has just begun. 「チョコレートやカカオが人間の健康に及ぼす影響に関する研究は、まだ始まったばかりです」

- **Research on ...** 〈**research**〉は不可算名詞扱いで「(科学的・学術的な) 研究」 (= a detailed study of a subject, especially in order to discover (new) information or reach a (new) understanding — *CALD*) という意味。イギリス英語では、複数形の researches も使われる。「研究を行う」という意味を表す場合には、carry out, conduct, do といった動詞とともに用いられる。 *ex.* They are carrying out [conducting / doing] some fascinating research into [on] the language of dolphins. — *CALD* (彼らはイルカの言語に関するとても興味深い研究を行っている) **on** は「接触」を表すことから、ある話題から接触して離れない、つまり「専門性の高い話題に関して」という意味に展開する。on の代わりに **about** を用いることも可能であるが、「周辺に」という意味から、話題に関する周辺事項も含めて述べるというニュアンスになる。 *ex.* a book on Japanese economy (日本経済について専門的に述べた本) / a book about Japanese economy (日本経済を話題の中心にしつつも、関連する周辺事項も併せて述べている本)
- **what chocolate and cacao can do for human health** 〈**what**〉は先行詞を含む関係代名詞。前置詞 on の目的語として名詞節となっている。

research と study

research と study はどちらも「研究」を意味するが、両者のニュアンスの違いには気をつける必要がある。前述のとおり、**research** は「科学的・学術的な研究」というイメージで、「広範かつ継続的な研究」という響きがある。これに対して **study** は可算名詞で、「(特定分野の) 研究、調査」 (= a piece of work that is done to find out more about a particular subject or problem, and usually includes a written report — *LDOCE*) という意味を表す。また、この意味での study は、しばしば studies の形で使われる。 *ex.* Recent studies show that women still get paid a lot less than men. — *LDOCE* (最近の研究によれば、女性は今でも男性より給料がかなり少ない)

L.18 We can look forward to new developments in the future. 「今後さらに新たな進展が期待できる

でしょう」

- **look forward to new developments** 〈look forward to ~〉は「～を期待して待つ」という意味。後ろに名詞(句)または動名詞が続く。ex. I'm really *looking forward to* our vacation. — *LDOCE* (私は休暇をととても楽しみにしています) / My mother says she's *looking forward to* meeting you. — *LDOCE* (母はあなたに会うのを楽しみにしています) **to**は前置詞であるため、後ろに不定詞を用いることはできない点に注意が必要。

L.19 Chocolate is not only the “king of all sweets.” 「チョコレートは、単にお菓子の王様であるだけではありません」

- **not only the “king of all sweets”** 〈not only A〉で「Aだけでなく」の意味。 **not only A but (also) B** の形で頻繁に用いられる。ここでは、but (also) B の情報が次文 (It also has great potential to improve our lives.) で述べられている。

L.20 It also has great potential to improve our lives. 「私たちの生活をより良くするための大きな可能性も秘めているのです」

- 前文の「お菓子の王様であるだけではありません」という内容を受け、さらに情報を追加している。alsoがあることがポイント。Chocolate is *not only* the “king of all sweets” *but also* has great potential to improve our lives. のように、1文として表現することも可能。
- **great potential** 〈potential〉は「(将来の)可能性, 発展性, 潜在(能)力」(=the possibility that something will develop in a particular way, or have a particular effect — *LDOCE*) の意味。ex. The company certainly has the *potential* for growth. — *LDOCE* (その会社は成長する可能性を確かに秘めている) 「可能性のある, 潜在的な」という意味の形容詞としても用いることも可能。ex. *potential* customers (潜在的な顧客) / a *potential* prime minister (総理大臣になる可能性のある人)
- **to improve our lives** great potential を修飾する不定詞の形容詞的用法。→ **Focus: 不定詞 improve** は「～を改良する, 進歩・上達する [させる]」(=to become better than before; to make something/somebody better than before — *OALD*) という意味。ex. I hope my French will *improve* when I go to France. — *OALD* (フランスに行ったら, フランス語が上達するといいのですが) **lives** は名詞 life の複数形。発音は /laɪvz/ となる。

Get the Picture

11. How long does the history of chocolate go back? (チョコレートの歴史はどのくらいまでさかのぼりますか)

【解答例】 It goes back 3,000 years. (3000年さかのぼります)

12. In what kind of cosmetics is cacao used? (カカオはどのような化粧品に使われていますか)

【解答例】 It is used in some skin care products such as lip balm or body cream. (リップクリームやボディクリームのようなスキンケア用品に使われています)

13. Why is chocolate-based toothpaste good for teeth? (なぜチョコレートを主成分とする練り歯磨きは歯によいのですか)

【解答例】 Because a substance called theobromine in cacao can make teeth stronger. (カカオに含まれるテオブロミンという成分が歯を強くするからです)

Lesson 5 Workshop

Summarizing

1. True or False

(a)-(d) の英文を聞いて、本文の内容に一致しているかどうかを答える問題。(a)-(d) の英文は、(a)=Part 1, (b)=Part 2, (c)=Part 3, (d)=Part 4の内容に対応しています。

【音声スクリプト】

- (a) Chocolate is only used to make sweets. (チョコレートは甘い菓子を作るためだけに使われています)
- (b) Chocolate was introduced to Europe after the Spanish arrived in the Americas in the 16th century. (チョコレートは16世紀にスペイン人がアメリカ大陸へやってきた後にヨーロッパに紹介されました)
- (c) Most children who work on the plantations can eat chocolate. (プランテーションで働く多くの子どもたちはチョコレートを食することができます)

(d) Science has shown that chocolate is good for human health. (チョコレートが人間の健康にいい影響を及ぼすと科学は示しています)

【解答】

(a) F (b) T (c) F (d) T

【解説】

- (a) Part 1, ll.15-17に、You may find it hard to believe, but chocolate isn't just a sweet. とあり、甘い菓子ではないチョコレートがあることがわかる。
- (b) Part 2, ll.10-15に、When the Spanish arrived in the Americas in the 16th century, they came across this “chocolate drink.”... This sweet chocolate was introduced to Europe and soon became popular with the rich. とある。
- (c) Part 3, ll.17-18に、In fact, most of the children

on the plantations have never eaten or even seen chocolate. とあり、多くの子どもたちがチョコレートを一度も食べたことがないことがわかる。

2. Notes

Part 1-4の英文の要点をまとめる問題。一つ一つの質問に対する答えは、すべて文の形で答える必要はなく、メモ風に語句の形で答えればよい。

【解答・解説】

Part 1 Chocolate

What is it made from?

→Cacao beans

Where are they mainly produced?

→In the hot and humid areas of West Africa and Latin America

○本文 *ll.8-10*に、The main ingredient in chocolate is cacao beans. These are mainly produced in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. とある。

Part 2 History of chocolate

When and where did chocolate start to be used as a drink?

→In the ancient cultures of Central America

How did it taste?

→Bitter

○本文 *ll.1-3*に、The history of chocolate goes back to the ancient cultures of Central America. Chocolate in those days was a bitter drink. とある。

Who came across chocolate in the 16th century?

→The Spanish

○本文 *ll.10-11*に、When the Spanish arrived in the Americas in the 16th century, they came across this “chocolate drink.”とある。

How did they change the chocolate?

→They changed it from a bitter drink to a sweet one.

(d) Part 4, *ll.19-21*に、Chocolate is not only the “king of all sweets.” It also has great potential to improve our lives. とある。

○本文 *ll.12-13*に、At first they did not like its bitter taste. But they came to love the drink after they made it sweet with sugar. とある。

Part 3 Dark side of chocolate’s popularity What did some European countries set up?

→Cacao plantations

In what areas?

→Latin America and Africa

Who was forced to work there?

→Local people (and many African people)

○本文 *ll.5-9*に、Spain and other European countries set up cacao plantations in Latin America and used local people for labor. They also brought in hundreds of thousands of African people to their plantations for slave labor. とある。さらに、*ll.9-10*に、They later set up cacao plantations in Africa as well and forced local people to work there. とある。

What problem still remains?

→Children can’t go to school because they must work on the plantations.

○本文 *ll.12-14*に、An especially serious problem is children who can’t go to school because they must work on the plantations. とある。

Part 4 Chocolate for human health

What is cacao used for?

→Everyday products such as lip balm, body cream, and toothpaste

○本文 *ll.4-6*に、In addition to being a key ingredient in chocolate, cacao is also used in various other everyday products. とある。

つつ、自分の言葉で置き換えるなどしてまとめるようにする。

【解答例】

参照の便として、Notes の Part 1-4の内容に対応する英文の初めに①-④の数字を付してあります (例：① = Part 1)。網かけの部分は、Notes の内容に追加された情報です。解答例1) は Notes の表現を使って作成した英文、解答例2) は別の表現を駆使して作成した英文です。

1) ①Chocolate is made from cacao beans. They are mainly produced in the hot and humid areas of West Africa and Latin America. ②In the ancient cultures of Central America, chocolate was a bitter drink. In the 16th century, the Spanish came across chocolate and later changed the bitter drink to a sweet one. It became popular in Europe. ③Spain and other European countries needed more cacao and set up cacao plantations in Latin America. They used local people for labor there and also brought many African people to their plantations for slave labor. The fact that children can’t go to school because they must work on the plantations still remains a problem. ④The story of chocolate continues to this day. Today cacao is also used for various everyday health products. We can expect to see more health benefits from chocolate in the future.

2) ①The hot and humid areas of West Africa and Latin America are well-known as areas where cacao beans, main ingredients of chocolate are produced. ②Chocolate had its roots in a bitter drink in the ancient cultures of Central America. In the 16th century, the Spanish ran across this chocolate drink and later made it sweet. Introduced to Europe, this sweet chocolate captured rich people’s attention. ③In order to meet increased demand for chocolate, Spain and other European countries needed to set up cacao plantations in Latin America to produce more cacao, and they used local people for labor. They later brought people from Africa and used them as slaves on the plantations. The harsh reality that children must work on the plantations and do not go to school still remains unsolved. ④Today

cacao is in great demand for a variety of everyday products for our life, not just chocolate to eat. The full potential of chocolates still remains to be seen.

【訳例】

1) チョコレートはカカオ豆から作られます。カカオ豆は、主に西アフリカやラテンアメリカの暑く湿度の高い地域で生産されます。中央アメリカの古代文化においては、チョコレートは苦い飲み物でした。16世紀に、スペインがこのチョコレートに出会い、後に苦い飲み物から甘い飲み物へと変えました。それはヨーロッパで人気になり、スペインや他のヨーロッパ諸国はより多くのカカオが必要になり、ラテンアメリカにカカオのプランテーションを作りました。彼らはそこで地元の人を労働に使い、さらに多くのアフリカ人を奴隷労働に就かせるために、プランテーションに連れてきました。プランテーションで働かなければならないために学校に行くことができない子どもたちがいるという事実は、今なお残る問題です。チョコレートの話は、今日まで続いています。今日、カカオは健康のための日用品としても使われています。将来、チョコレートからより多くの健康上の恩恵を受けることが期待できます。

2) 西アフリカやラテンアメリカなどの暑く湿度の高い地域は、チョコレートの主原料であるカカオ豆が生産される地域としてよく知られています。チョコレートは中央アメリカの古代文明の苦い飲み物に由来します。16世紀、スペイン人がこのチョコレートの飲み物に出会い、後にそれを甘く変えました。甘くなったチョコレートはヨーロッパに紹介され、富裕層の心をつかみました。チョコレートの増大する需要に対応するべく、スペイン及び他のヨーロッパ諸国は、より多くのカカオを生産するためにラテンアメリカにカカオプランテーションを作る必要があり、その地域の人びとを労働者として働かせました。(さらに)彼らは後にアフリカの人びとをカカオプランテーションに連れてきて、奴隷として酷使しました。子どもたちがプランテーションで重労働を強いられ、学校へ行けないという過酷な現実、未解決のまま残されています。今日では、食べるチョコレートはもちろんのこと、私たちの生活に必要なさまざまな日用品にカカオがたいへん需要があります。チョコレートには、さらなる大きな可能性が今なお秘められています。

Chocolate: A Story of Dark and Light 5

Listen & React

L Listen to the chocolate maker's presentation of a fair trade product and answer the questions.

Graph A
Annual consumption of chocolate per person
Unit: kilograms

Country	Consumption (kg)
Ireland	12.4
Germany	11.4
Switzerland	10.8
France	10.4
Belgium	9.1
Norway	8.7
Japan	8.2
Denmark	7.1
United States	6.2
China	3.2

Source: ICA/CAD/BISCO (2007)
Market Price: 1kg ¥300

Graph B
Annual production of cacao beans
Unit: tons

Country	Production (tons)
Cote d'Ivoire	1,210,000
Ghana	660,000
Indonesia	400,000
Peru	300,000
India	200,000
Madagascar	150,000
Philippines	100,000
China	80,000
Other	200,000

Source: ICCO (2007-2009)

- Fill in the blanks in Graph A.
- Fill in the blanks in Graph B.
- What does the presenter say about "chocolada"?
 - Some laborers at cacao plantations never eat it.
 - It is made from cacao which the company produces.
 - We can help improve laborers' lives if we buy it.

R Give a presentation to the class about new facts you have learned from the graphs above.

Example

Hello, everyone. My name is (Your name). Today I'd like to talk about the world's chocolate consumption and cacao production. According to Graph A, (Facts). According to Graph B, (Facts). The graphs show that (Findings).

LESSON 5 | 65

Listen & React

L

【音声スクリプト】

- According to Graph A, you can see the top eight countries that consume chocolate are all European countries. Ireland is at the top. An Irish person eats about 12.4 kilograms of chocolate a year. Following it, Germany is second, and Switzerland is third. Germans eat about 11.4 kilograms, and Swiss people eat 10.8 kilograms in a year. Generally speaking, the graph shows that people in Europe and other developed countries eat a lot of chocolate.
- According to Graph B, West African countries produce the most cacao beans. Cote d'Ivoire produces 1,210,000 tons of cacao beans a year and it is the top-producing country in the world. Ghana is second and it produces 660,000 tons of cacao beans a year. We can see cacao beans are mainly produced in the developing countries.
- These graphs show that cacao beans are produced by laborers at cacao plantations in

developing countries and the chocolate is eaten in developed countries. Some of those laborers are children and they never eat chocolate. It is too expensive for them. Our company's product "chocolada" will change this situation for the better. This is a fair-trade product. By buying cacao directly from farmers, we pay an above-market price for their cacao. If you like to eat chocolate, but don't want to treat people unfairly, "chocolada" is probably your best choice.

- グラフ A によれば、チョコレート消費している上位 8 か国はすべてヨーロッパの国々であることがわかります。アイルランドが 1 位です。アイルランド人は一人あたり年間 12.4 キログラムのチョコレートを食べます。続いてドイツが 2 位、スイスが 3 位です。ドイツ人は年間約 11.4 キログラムを、スイス人は 10.8 キログラムを食べます。一般的に言って、ヨーロッパやその他の先進国の人びとは、たくさんのチョコレートを食べるということをこのグラフは示しています。
- グラフ B によれば、西アフリカの国々がカカオ豆の

大半を生産しています。コートジボワールは年間 121 万トンのカカオ豆を生産する世界一の生産国です。ガーナは 2 位で年間 66 万トンのカカオ豆を生産しています。カカオ豆は主に開発途上国で生産されているということがわかります。

- これらのグラフが示すのは、カカオ豆は開発途上国のカカオ豆のプランテーションで働く労働者たちによって生産され、チョコレートは先進国で食べられているということです。これらの労働者の一部は子どもで、決して彼らはチョコレートを食べません。それは彼らには高価すぎるのです。当社の製品「チョコラダ」はこの状況を改善するでしょう。これはフェアトレード商品です。農家から直接カカオ豆を買うことで、私たちは彼らのカカオに市場価格より高値を支払います。もしあなたがチョコレートは食べたいけれど、人びとを不公平に扱いたくないとしたら、おそらく「チョコラダ」は最良の選択となることでしょう。

【解答】

- Ireland (12.4) Germany (11.4)
- Cote d'Ivoire (1,210,000) Ghana (660,000)
- (c)

【解説】

- 各国の国民一人あたりのチョコレートの年間消費量を示したグラフ A の空欄を埋める問題。音声中に Ireland is at the top. An Irish person eats about 12.4 kilograms ... とあるのでアイルランドの空欄には 12.4(kg) が入る。続いて Germany is second ... Germans eat about 11.4 kilograms ... からドイツの空欄には 11.4(kg) が入る。twelve point four kilograms, eleven point four kilograms など、小数点を含む数字の読み方も押さえておきたい。なお、チョコレート 1 キログラムは、板チョコレ

R

【指導上の留意点】

チョコレートに関するデータ(グラフ)から情報を読み取り、英語でどう表現するかを学ぶ。グラフの説明には独特の英語表現があるので、それを覚え、使えるようになることを目指す。2 種類のグラフには各国の「チョコ

レートの年間消費量」と「カカオ豆の年間生産量」が示されており、どんな国が挙げられているかを確認し、グラフから読み取った情報をもとに、習った表現を使って事実や感想を書き、それを発表する練習を行う。グラフを説明するための表現を使うことで、難しいと思われたことが、簡単にわかりやすく表現できることを認識させたい。

- グラフ B は国ごとのカカオ豆の年間生産量を示す。音声中の Cote d'Ivoire produces 1,210,000 tons of cacao beans a year and it is the top-producing country in the world. より、コートジボワールが 121 万トン、同様に Ghana is second and it produces 660,000 tons of cacao beans a year. よりガーナが 66 万トンとわかる。one million two hundred (and) ten thousand, six hundred (and) sixty thousand という大きな数字の聞き取りがポイント。カンマは音読されないが、大きな数字を 3 桁ごとに区切る目安となっており、thousand < million < billion の位置に置かれていること、また、日本語における万 < 億 < 兆といった区切りとは異なることに注目させたい。
- What does the presenter say about "chocolada"? (発表者は「チョコラダ」について何と言っていますか)

- Some laborers at cacao plantations never eat it. (カカオ豆のプランテーションで働く労働者の中にはチョコラダを一度も食べたことがない人がいます) [不正解] フェアトレード商品でない従来のチョコレート全般についての発言である。
- It is made from cacao which the company produces. (その会社が生産しているカカオから作られています) [不正解] その会社がカカオ豆を生産しているという発言はなく、カカオ豆は別の地域(主に途上国)の農家で生産されたものを購入している。
- We can help improve laborers' lives if we buy it. (それを買うことで、私たちは労働者たちの生活を向上させる手助けができます) [正解] 音声中に Our company's product "chocolada" will change this situation for the better. とあり、フェアトレード商品は農家に市場価格より高い対価を支払うことが語られている。

【指導方法】

生徒をペアか、グループ分けし、2つのグラフに挙げられる国名とその地域を確認させる。まず、Graph Aでは、Take a look at the top eight countries. What countries are they and which part of the world are they in? などの質問を試みる。一方、How about Japan or China? How much do people in those countries eat? など、ヨーロッパの国々と比較させる質問をして、その差について注意を喚起する。Graph Bでは、まず、West Africa に注目させ、What are the top two countries that produce cacao beans? などと水を向ける。また、Latin America と Southeast Asia の国々の生産量にも注目させたい。

上記の質問に口頭で答えさせることで、情報を整理させることができる。その後には、グラフの情報を説明するときに使われる、役立つ表現を板書して説明するとよいだろう。生徒には、こうした表現は非常によく使われ、大学入試にも頻出するものであることを周知させたい。

(板書例 = グラフの情報を説明する表現)

According to ~ / consume / ~ is at the top / on the other hand, / a small [large] amount of ~ / on average / eat far less [more] / the graph shows ...

/ top-producing country ...

時間的な余裕があれば、何度も声に出して読み、英文を見ないでグラフを表現できるか試すのもよいだろう。

【解答例】

- Hello, everyone. My name is (). Today I'd like to talk about the world's chocolate consumption and cacao production. According to Graph A, people in Europe eat a lot more chocolate than people in other countries. According to Graph B, countries in West Africa produce the most cacao beans. The graphs show that European countries import lots of cacao beans from West African countries.
- Hello, everyone. My name is (). Today I'd like to talk about the world's chocolate consumption and cacao production. According to Graph A, Japanese people eat a lot less chocolate than Europeans. According to Graph B, Cote d'Ivoire produces the most cacao beans in the World. The graphs show that Irish people eat the most chocolate and people in Cote d'Ivoire make the most cacao beans.

Lesson 5 Grammar for Communication

LESSON 5 Grammar for Communication

Focus

Chocolate has great potential to improve our lives. →p.63 L20

〈行為と向き合う〉状況を表す **to do** (不定詞)

to do

前置詞の to は「空間的に対象と向き合う」関係を示すが、不定詞の to は「(予定された) 行為と向き合う」ことを表し、to do には基本的に「これからすること(未来志向的な行為)」という意味合いがある。

▶ 動詞 + to do の主なタイプ (名詞的用法)

- I want *to go* abroad. (行為と向き合う願望を表す)
*同じタイプの動詞: hope, wish, expect など。
- I promise *to finish* the work by noon. (行為と向き合う決意・気持ちを表す)
*同じタイプの動詞: decide, choose, mean など。
- We managed *to carry out* the plan. (行為と向き合って何らかの対応をする)
*同じタイプの動詞: learn, hesitate, refuse など。

▶ to do で名詞を修飾する (形容詞的用法)

- I have a report *to finish* by tomorrow. (これから仕上げる報告書→未来志向的)

▶ to do で目的を表す (副詞的用法)

- I went to the airport *to see* him off. ((これから) 彼を見送るために→未来志向的)

Task 以下の状況に合う対話になるように、下線部の内容を to do を使って表現してみよう。

- 海外在住の友人が帰国する予定だと聞いて。
A: I'm going to come back to Japan next month.
B: Really? そのときに君に会いたいな。
- 映画を見に行こうと誘われて。
A: Do you want to go and see a movie on Sunday?
B: Sorry, I can't go. ひらなまきいけない宿題がたくさんあるんだ。

Chocolate: A Story of Dark and Light 5

Structures and Expressions

① 形式目的語 it (目的語の働きをして、具体的な情報を予告する)

- You may find it hard *to believe*, but chocolate isn't just a sweet. →p.58 L16
- The Internet makes it possible for us *to access* various information.
- The government regards it as necessary *to raise* taxes.
- I think it likely *that he will join* our basketball team.

Task 以下の状況に合うように、[] 内の語句を使って英語で表現してみよう。

- 異文化を理解するのは難しい。
I find [to, different cultures, it, understand, difficult].
- 時間をじょうずに使うことが大切だと思う。
I think [well, to, your time, it, important, use].
- 政府は温暖化ガスを削減する必要があると考えている。
The government regards [reduce, it, as, to, greenhouse gases, necessary].

② 動詞 + A + to do (A が行為と向き合うようにさせる)

- I'll get him *to do* it. (～するように仕向ける)
- They set up cacao plantations in Africa and forced local people *to work* there. (～するよう強制する) →p.60 L10
- Allow me *to introduce* myself. (～することを許す)
- He ordered us *to stay* here. (～するよう命令する)
- I want you *to do* it right away. (～することを望む)

Task 以下の状況に合う対話になるように、下線部の内容を英語で表現してみよう。

- 友人になぜテレビゲームを持っていないのか聞かれて。
A: Why don't you have any video games?
B: 両親が買うのを許してくれないんだ。
- ドアの鍵を閉め忘れの人に尋ねる。
A: I think I forgot to lock the door.
B: だれかに確かめに行ってもらえないの?

Focus

〈行為と向き合う〉状況を表す to do (不定詞)

【訳例】

- 私は海外に行きたい。
- 正午までにその仕事を終えることを約束します。
- 私たちは何とかその計画を実行した。
- 明日までに仕上げなくてはならない報告書がある。
- 空港に彼を見送りに行った。

【指導上のポイント】

to do (不定詞) の指導法として、「名詞的用法」「形容詞的用法」「副詞的用法」の3用法に分類するというやり方がある。to do を品詞的に分類することで、理解が深まり解釈にも生かせるのは確かだが、用法を分類して示すだけでは、なぜ異なる用法が同じ to do という形で表現できるのか理解できない。そこで、to do の本質的な意味について指摘する必要がある。〈**to + do** (動詞の原形)〉の to は、前置詞の to と意味的につながっている。前置詞の to は、「対象と向き合う」がその本質的な意味(コア)である。face to face (面と向き合って) / dance to the

music (音楽に合わせて踊る←音楽と向き合って踊る) / Be kind to others. (他人に対して親切であれ←他者と向き合って) これを踏まえて、不定詞を考えると、〈**to + do** (動詞の原形)〉は、「行為と向き合う」という意味合いになる。前置詞 to の「(空間的に) 対象と向き合う」に対して、不定詞 to do の場合には「(時間的に) 行為と向き合う」という捉え方ができる。そこで、基本的に、to do には、「これからする(まだしていない)」という未来志向の意味合いが生じる。

to do の主な用法としては、以下がある。

- 動詞 + to do (名詞的用法)
「～すること」と訳せる場合が多い。
- 名詞を修飾する to do (形容詞的用法)
「～する(ための) 名詞、～すべき名詞」と訳せる場合が多い。
- to do で「目的」などを表す (副詞的用法)
「目的」を示すときは「～するために」と訳せる。
なお、名詞的用法には、〈動詞 + to do〉のほかに、主語としての用法などもある。ただし、主語としての用法

は、**To err is human; to forgive (is) divine.** (過つのは人の常、許すのは神の御業 (みわざ)) / **To see is to believe.** (見ることは信ずることだ) / **To be in love is to be alive.** (恋することこそ生きている証だ) のように、格言的な表現、対比的な表現に多く見られる傾向にある。むしろ、**It is important to stay healthy.** のように、形式主語 **It** を立ててから、それに呼応する形で、文の後方で **to do** (真主語となる) を使う場合が多い。

以下、教科書 p.66 の例文について確認する。

①名詞的用法

1. I want **to go** abroad. (私は海外に行きたい) 動詞 (want) に **to go** が続いている。「行為と向き合う願望」を表す用法。
2. I promise **to finish** the work by noon. (正午までにその仕事を終えることを約束します) 動詞 (promise) に **to finish** が続いている。「行為と向き合う意志」を表す用法。
3. We managed **to carry out** the plan. (私たちは何とかその計画を実行した) 動詞 (managed) に **to carry out** が続いている。「行為と向き合って対応する」ことを表す用法。

②形容詞的用法

4. I have a report **to finish** by tomorrow. (明日までに仕上げなくてはならない報告書がある) 名詞 a report を修飾する用法。「これから仕上げるべき」という未来志向の意味合い。

③副詞的用法

5. I went to the airport **to see** him off. (空港に彼を見送りに行った) 動詞 (went to...) を修飾する不定詞の用法。「(これから) ~するために」という未来志向の意味合い。

Task

【解答例】

1. A: I'm going to come back to Japan next month.
B: Really? I want [would like / hope] to see

[meet] you then.

2. A: Do you want to go and see a movie on Sunday?
B: Sorry, I can't go. I have a lot of homework to do.

【解説】

1. 「そのとき君に会う (to see [meet] you then)」という行為を未来の事柄として想定し、そうすることを望む (I want / I would like / I hope) と表現する。英語では、自分の意志や願望を先に立てて、具体的に想定する行為を不定詞でつなく。
2. 「～がある」は There is でもよいが、have を使って、「自分が (するべきこと) を持つ」と表現するほうがより自然である。まず、I have を〈主語+動詞〉として立てて、have する対象として、「たくさんの宿題 (a lot of homework) ←やらなければならない」という名詞のカタマリを英語で表現する。「やらなければならない」は、これからすべき (未来志向の) 行為として **to do** で表現する。

補充問題

以下の状況にふさわしい会話になるように、下線部の内容を **to do** を使って表現してみよう。

1. **状況** 母親は今どこにいるのかと聞かれて。
A: Where is your mother now?
B: 孫の子守をしに、大阪へ行きました。
2. **状況** 新しいダイエットを試すべきかと聞かれて。
A: Do you really think I should try this new diet?
B: Why not? 何も失うものはないですよ、体重以外は。

【解答例】

1. She went to Osaka to take care of her grandson.
2. Why not? You have nothing to lose, other than some weight.

Structures and Expressions

①形式目的語 it

目的語の働きをして、具体的な情報を予告する。

【訳例】

1. 信じたいかもしれませんが、チョコレートはお菓子だけではありません。
2. インターネットは、私たちがさまざまな情報にアクセスすることを可能にしている。
3. 政府は税を上げることを必要なこととみなしている。
4. 彼が私たちのバスケットボールのチームに加わる見込みは高いと思う。

【指導上のポイント】

ここで学ぶ構文のポイントは **it** の用法である。動詞の直後に **it** がくるものの、その **it** の内容は先行する情報と対応するのではなく、文中の後方に出てくる情報を予告するという用法である。そして、この **it** が予告するのは、概して **to do** や **that** 節である (〈疑問詞+to 不定詞〉や **wh-** 節がくる場合もある)。例文で使われている動詞は主体の「判断」を示すもので、**it** に続く形容詞はある種の「評価」を示すものである。したがって、ここでの構文は、「判断」を示す動詞+**it**+「評価」の形容詞+具体的な情報 (**to do / that** 節) という情報展開になっていることがわかる。**it** と形容詞の間には、意味的には **be** 動詞が含まれていて、実際に、**it** を主語とした〈It+be 動詞+形容詞+具体的な情報〉の構文を使った表現が可能である。

以下、教科書 p.67 の例文について、チャンク単位で意味の流れを確認してみよう。動詞の直後にくる **it** がどのような情報を予告しているかに注目してみよう。

1. You may find **it** hard あなたは難しいと思うかもしれない (「何が?」と思わせて、以下で具体的に述べる)
to believe, 信じるのが
but chocolate isn't just a sweet. しかし、チョコレートはお菓子だけではありません。
2. The Internet makes **it** possible インターネットは可能にしている (「何を?」と思わせて、以下で具体的に述べる)
to access various information. さまざまな情報にアクセスすることを
3. The government regards **it** as necessary 政府

はそれを必要なこととみなす (「それって何?」と思わせて、以下で説明する)

to raise taxes. 税を上げることが

4. I think **it** likely 見込みは高いと思う (「何が?」と思わせて、以下で説明する)

that he will join our basketball team. 彼が私たちのバスケットボールのチームに加わるのが

Task

【解答例】

1. I find [it difficult to understand different cultures].
2. I think [it important to use your time well].
3. The government regards [it as necessary to reduce greenhouse gases].

【解説】

1. 「異文化を理解するのは難しい」は、英語的な発想だと、まず、「何かが難しい」というコメントを先行させ、次に、その「何か」を具体的に述べていく。具体的に述べる前に、とりあえず主語や目的語として **it** を立てることができるので、It is difficult だとか I find it difficult としてから、「異文化を理解すること (to understand different cultures)」を具体的な内容として提示する。
2. 〈主語 (I) + 「判断」を示す動詞 (think)〉が与えられている。「A が B だと思う (判断)」の内容は、「時間をじょうずに使うことが大切だ」そこで、〈判断〉を示す動詞+**it**+「評価」を表す形容詞+具体的な情報 (**to do / that** 節) という構文にあてはめて、think it important to use your time well とする。
3. regard A as B 「A を B とみなす」が使われているので、まず、it as necessary と続け、その具体的な内容を **to** 不定詞 (to reduce greenhouse gases) で表現する。

補充問題

以下の状況にふさわしい英語表現を、[] 内の語句を使って作ってみよう。

1. **状況** 私のしていることは、ぱっと見は簡単に見えるでしょう。
You may think it [to do, what, easy, I'm doing]

now], but actually it's not that easy.

2. **状況** 1週間でやるなんて、自分の能力を越えていると感じた。

The teacher gave me such a big assignment that I found [beyond my ability, to do it, in a week, it].

【解答例】

1. You may think it [easy to do what I'm doing now], but actually it's not that easy.
2. The teacher gave me such a big assignment that I found [it beyond my ability to do it in a week].

②動詞+A (人) +to do

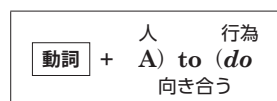
A が行為と向き合うようにさせる。

【訳例】

1. それを彼にやらせよう。
2. 彼らはアフリカにカカオのプランテーションを作り、その地域の人びとをそこで強制的に働かせた。
3. 自己紹介をさせてください。
4. 彼は私たちにここにいるように命じた。
5. あなたにそれを今すぐやってほしい。

【指導上のポイント】

〈動詞+A (人) +to do〉の構文は、「A (人) が行為と向き合う」状況を想定する表現である。この構文で使える主な動詞として、「仕向ける」といった意味合いの get, cause, 「強制する」の force, oblige, 「許す・可能にする」の allow, permit, enable (主語は無生物), 「促す」の encourage, urge などがある。また、「言葉で働きかける」という意味合いの ask, tell, order, request などもある。She **asked him to call** her every day. (彼女は彼に毎日電話をするようにとお願いした) この構文を図式的に捉えると、以下のようになる。



この構文の「動詞」は、何らかの働きかけをして、「人」が「行為」と「向き合う」状況を生み出すということである(「禁ずる」の場合は、「人」が「行為」と向き合う状況を前提として、それを禁ずると解釈される)。

以下、教科書 p.67 の例文を、〈動詞+A (人) +to

do〉の構文に焦点を当てて確認してみよう。

1. I'll **get him to do** it. → 「彼」が「それをするという行為」と「向き合う」状況を get しよう。
2. They set up cacao plantations in Africa and **forced** local people **to work** there. → 「その地域の人びと」が「そこで働くという行為」と「向き合う」ように強制した。
3. **Allow me to introduce** myself. → 「私」が「自己紹介をするという行為」と「向き合う」のを許してほしい。
4. He **ordered us to stay** here. → 「私たちが」ここにいてという行為」と「向き合う」よう命じた。
5. I **want you to do** it right away. → 「あなた」が「今すぐそれをするという行為」と「向き合う」のを望んでいる。

Task

【解答例】

1. A: Why don't you have any video games?
B: My parents never allow me to buy any (video games).
2. A: I think I forgot to lock the door.
B: Can't you ask someone to go (and) check it?

【解説】

1. 「私がテレビゲームを買う (I buy video games)」 「両親がそれを許さない (My parents never allow ...)」を、〈allow+A (人) +to do〉の構文を生かして表現する。
2. 「だれかが確かめに行く (someone goes check it)」 「あなたがだれかにそれを頼む (you ask someone ...)」を、〈ask+A (人) +to do〉の構文を生かして表現する。check it は check whether [if] it's locked (or not) などともできる。

補充問題

以下の状況にふさわしい会話になるように、1. 下線部の内容を英語で表現してみよう。2. [] 内に与えられた語を使って表現してみよう。

1. **状況** 彼女がバレエをやめようと思っていると聞いて、
A: She is now thinking of giving up ballet. It's a pity.
B: Really? バレエのレッスンに通い続けるように彼

女を励まさないといけない。

2. **状況** 新しいアプリの魅力は何ですか。
A: What is so good about this new app?
B: Well, it will [do, enable, you, multi-tasking, to] and save you a lot of time.

【解答例】

1. Really? We should encourage her to keep going to the ballet lessons.
2. Well, it will [enable you to do multi-tasking] and save you a lot of time.

Lesson 5 Language Resources

LESSON 5 | Language Resources

Vocabulary Network ▶▶▶ "Taste"

temperature 温度

- ▶ cold 冷たい
- ▶ () 温かい
- ▶ hot 熱い
- ▶ lukewarm ぬるい
- ▶ boiling hot ものすごく熱い

taste 味

- ▶ sweet 甘い
- ▶ () 苦い
- ▶ salty 塩からい
- ▶ salty-sweet 甘からい
- ▶ bitter-sweet ほろ苦い
- ▶ () すっぱい
- ▶ hot ぴりっとからい
- ▶ () 香辛料のきいた
- ▶ mild まろやかな
- ▶ bland 無味の
- ▶ rich / () こってりした
- ▶ oily / greasy あぶらっこい

impression 感想

- ▶ () おいしい
- ▶ tasty 風味のきいた
- ▶ appetizing おいしそうな
- ▶ () awful まずい
- ▶ () good おいしそうなおいがする

eat 食べる

- ▶ () かむ
- ▶ devour むさぼり食う
- ▶ crunch on ~ ぼりぼりと食べる
- ▶ () 飲み込む

The meat was too tough to *chew*.
He is *crunching on* a rice cracker noisily.
I *swallowed* a fish bone.

Task Fill in the blanks of the "network diagram" above by choosing from the words below.
[bitter, chew, delicious, heavy, smell, sour, spicy, swallow, taste, warm]

68 LESSON 5

[MEMO]

Vocabulary Network: Taste 「味」

Task

taste 「味」

- ▶ sweet 「甘い」
- ▶ (bitter) 「苦い」
- ▶ salty 「塩からい」
- ▶ salty-sweet 「甘からい」
- ▶ bitter-sweet 「ほろ苦い」
- ▶ (sour) 「すっぱい」
- ▶ hot 「ぴりっとからい」
- ▶ (spicy) 「香辛料のきいた」
- ▶ mild 「まろやかな」
- ▶ bland 「無味の」
- ▶ rich / (heavy) 「こってりした」
- ▶ oily / greasy 「あぶらっこい」

temperature 「温度」

- ▶ cold 「冷たい」
- ▶ (warm) 「温かい」
- ▶ hot 「熱い」
- ▶ lukewarm 「ぬるい」

- ▶ boiling hot 「ものすごく熱い」

impression 「感想」

- ▶ (delicious) 「おいしい」
- ▶ tasty 「風味のきいた」
- ▶ appetizing 「おいしそうな」
- ▶ (taste) awful 「まずい」
- ▶ (smell) good 「おいしそうなおいがする」

eat 「食べる」

- ▶ (chew) 「かむ」
- ▶ crunch on ~ 「ぼりぼりと食べる」
- ▶ devour 「むさぼり食う」
- ▶ (swallow) 「飲み込む」

- ・ The meat was too tough to *chew*. (その肉は硬すぎてかめなかった)
- ・ He is *crunching on* a rice cracker noisily. (彼は煎餅を音を立ててぼりぼり食べている)
- ・ I *swallowed* a fish bone. (魚の骨を飲み込んだ)